

婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の 患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 子宮頸部神経内分泌腫瘍に対する集学的治療を探索する観察研究

[研究機関] 北海道大学病院婦人科

[研究責任者] 渡利 英道 (婦人科・講師)

[研究の目的] 本邦における子宮頸部小細胞癌をはじめとする神経内分泌腫瘍について、臨床病理学的因子や治療法と予後の関連についての後方視的な観察研究を多施設で共同して行い、子宮頸部神経内分泌腫瘍の病理診断を含めた取扱い指針・標準治療法を模索する。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

1989年から2008年の間に治療を行った子宮頸部神経内分泌腫瘍（カルチノイド、異型カルチノイド、小細胞癌、大細胞神経内分泌癌）の方。

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術あるいは生検の際に採取した癌組織の一部

(診療上の必要性から当院において保管させていただいていたものです)

カルテ情報：

治療開始時項目

- 1) 年令
- 2) 既往症、合併症
- 3) 細胞型
- 4) 臨床進行期分類 子宮頸癌取扱い規約(1997年第2版)
- 5) 原発腫瘍径 治療開始直前の画像評価による
- 6) 原発腫瘍の進展度 膜壁、子宮傍結合織、膀胱直腸粘膜への浸潤の有無
- 7) 骨盤・傍大動脈リンパ節転移の有無 治療開始前の画像評価による

8) 遠隔転移の有無

9) 腫瘍マーカー SCC、CEA、CA125、CA19-9、NSE 計測値と施設 cut off 値

初回治療

1) 治療開始年月日、治療期間

2) 手術療法：術式、手術施行日、手術終了時の残存病変の有無

3) 放射線療法：骨盤腔外部照射、腔内照射、傍大動脈リンパ節外部照射、その他照射期間、総線量、分割回数、線源、照射方法

4) 化学療法：使用薬剤、投与量・スケジュール、投与開始日、投与回数、治療効果

5) その他の治療

病理組織学的項目（手術施行例）

1) 病理組織学的分類（併存組織型の有無を含む）

2) 原発腫瘍の進展度：腫瘍長軸径、頸部間質浸潤の深さ、脈管侵襲
腔壁浸潤、旁子宮組織浸潤、切除断端

3) リンパ節転移

初回治療後の転帰

1) 初回治療の転帰

2) 増悪確認日

3) 増悪部位

4) 最終生存確認日と転帰

5) 増悪確認後の治療内容と治療効果

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 婦人科 担当医師 渡利 英道

電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711